

1月11日に南部市民サービスセンター別館で開催された「みんなで世代間交流会」において、地域の皆さんと子どもたちがもちつきをする様子

あきた市議会だより

No.173

平成31年
2月1日

- 11月定例会の概要……………P 2～3
- 11月定例会の議決結果……………P 3～4
- 一般質問……………P 5～9
- 予算決算委員会各分科会の審査から……………P 9
- 常任委員会の審査から……………P 10
- 2月定例会のお知らせ(予定)……………P 10

秋田市議会ではLINEによる情報発信をしています。
LINEの「友だち追加」から「ID検索 (@akitacity_gikai)」
または「QRコード」で登録できます。



つきたてのおもちで大福をつくったよ！



11月定例会の概要

11月28日～12月20日

11月定例会では、秋田市中心企業振興基本条例を設定する件などの条例案9件、予算案14件、単行案14件をすべて可決したほか、人事案4件に同意しました。



予算

汎用機オープン化事業

情報システムのコスト削減、業務の標準化等を図るため、現行の汎用機システム（住民記録、税、福祉等の17業務）から、地域情報プラットフォームに準拠したオープンシステムへ平成33年9月までに移行し、5年間運用します。

債務負担行為設定

14億3千427万6千円

子ども・子育て支援事業計画策定経費

平成31年度に策定を予定している次期「秋田市子ども・子育て未来プラン」の基礎資料として、子ども・子育て支援に関する利用希望等を把握するため、子育て世帯を対象としたニーズ調査を実施します。

457万1千円

地方独立行政法人市立秋田総合病院貸付金

新病院改築に先立ち施工する立体駐車場建設工事等に対して、病院事業債を貸し付けます。

6億4千690万円

インバウンド誘客促進事業

台湾との観光や教育、文化、スポーツ、芸術などの交流を推進し、交流人口の拡大を図るため、平成31年1月に台南市を訪問します。

429万5千円



台南市政府

中山間地域農業支援事業

中山間地域の資源を生かし、創意あふれる計画を策定した地域の農業者に対し、地域特産物の生産体制の強化に必要な施設等の導入を支援します。

- ・雄和大正寺地区（1農家）
- ・河辺岩見三内地区（1農家）
- ・牛舎、堆肥舎、ミニホイルローダ

2千20万7千円

廃止石油坑井保全事業

黒川鉾山の鉾業権者が経営難により閉山することから、原油流出を防止するため、保全措置を行います。

所在地

金足黒川字小草生津ほか

油坑数

2坑

保全方法

油坑巡回、湧出

油くみ取り、廃油処分

125万4千円

シマフクロウ生息域外保全事業

国内では北海道にのみ生息し、保護増殖対象種となっているシマフクロウを導入し、展示します。

・猛禽舎池作成工事等
90万円



シマフクロウ
写真提供：釧路市動物園

人にやさしい歩道づくり事業

事業の平準化を図るため、年度内に工事発注を行います。

- ・鉄砲町菅野線

債務負担行為設定

5千700万円

条例

秋田市中心企業振興基本条例を設定

中小企業の振興についての基本理念等を定めることにより、中小企業の振興に関する施策を総合的に推進し、本市の経済の持続的な発展および市民生活の向上に寄与するため、条例を設定しました。

施行期日 31年2月1日から

秋田市障害福祉サービスセンター条例を廃止

障害福祉サービスセンターの民間移行に伴い、同センターを廃止するため、条例を廃止しました。

施行期日 31年4月1日から

単行案

秋田市農山村地域活性化センターの指定管理者を指定する件

指定管理者

株式会社バウハウス

指定期間 31年4月1日から

36年3月31日まで





金足地区コミュニティセンター（仮称）建設予定地
（金足地域センター）

金足地区コミュニティセン
ター（仮称）新築工事請負
契約を締結する件

工事場所 金足小泉字上前
55番地

契約金額 1億7千674万2千円

契約先 林・小南建設工
事共同企業体

工事概要

- ・構造規模 木造平家建て
- ・延べ面積 546・37㎡
- ・施設内容 和室2室、調
理室、多目的ホール、事
務室等
- ・外構工事 一式
- ・既存建物の解体工事を含む

工期 31年11月29日まで



太平山スキー場オーパス

秋田市太平山スキー場およ
び太平山リゾート公園の指
定管理者を指定する件

指定管理者
太平山観光開発株式会社

指定期間 31年4月1日から
36年3月31日まで

人事

公平委員会委員

佐々木 俊幸氏（再任）

人権擁護委員

山本 尚子氏（再任）
高井 志津子氏（再任）
今野 謙氏（再任）



11月定例会の議決結果

◆全員一致で可決した議案

全員一致で可決された議案は件名のみを掲載しています。

件名	
市長提出	秋田市議員報酬、報酬等の額およびその支給方法に関する条例の一部を改正する件 ※議案第131号
	秋田市都市公園条例の一部を改正する件
	秋田市障害福祉サービスセンター条例を廃止する件
	秋田市中小企業振興基本条例を設定する件
	秋田市営住宅条例の一部を改正する件
	秋田市職員給与条例および秋田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する件
	秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更についての協議に関する件
	公立大学法人秋田公立美術大学第2期中期目標を定める件
	地方独立行政法人市立秋田総合病院第2期中期目標を定める件
	秋田市雄和観光交流館等の指定管理者を指定する件
	秋田市勤労者総合福祉センター等の指定管理者を指定する件
	秋田市職業訓練センターの指定管理者を指定する件
	秋田市農山村地域活性化センターの指定管理者を指定する件
	秋田市太平山スキー場および太平山リゾート公園の指定管理者を指定する件
	市道路線を廃止する件
	市道路線を認定する件
	市道川尻新屋線新川橋架替工事（下部工）請負契約の変更契約を締結する件
	金足地区コミュニティセンター（仮称）新築工事請負契約を締結する件
予算案	土地および建物を売り払う件
	土地を売り払う件
	平成30年度秋田市一般会計補正予算（第4号）の件
	平成30年度秋田市土地区画整理会計補正予算（第2号）の件
	平成30年度秋田市市営墓地会計補正予算（第2号）の件
	平成30年度秋田市中央卸売市場会計補正予算（第1号）の件

←4ページに続きます

全員一致で可決等された議案は件名のみを掲載しています。

件 名	
市長提出	予算案
	平成30年度秋田市公設地方卸売市場会計補正予算（第1号）の件
	平成30年度秋田市大森山動物園会計補正予算（第1号）の件
	平成30年度秋田市廃棄物発電会計補正予算（第2号）の件
	平成30年度秋田市病院事業債管理会計補正予算（第1号）の件
	平成30年度秋田市国民健康保険事業会計補正予算（第1号）の件
	平成30年度秋田市介護保険事業会計補正予算（第2号）の件
	平成30年度秋田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）の件
	平成30年度秋田市水道事業会計補正予算（第1号）の件
	平成30年度秋田市下水道事業会計補正予算（第1号）の件
	平成30年度秋田市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）の件
	人事案
秋田市公平委員会委員の選任について同意を求める件	
人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件（3件）	

◆賛否が分かれた議案等

賛否が分かれた議案等は各議員の表決状況を掲載しています。

件名		議決結果	秋水区																そうせい				市民クラブ		公明党		フロンティア		社・市		共産党		議長																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			細川信二	安井正浩	田中勉	川口雅彦	佐藤宏悦	伊藤一重	熊谷榮隆	菅原琢哉	渡辺正宏	岩谷良誠	小野寺善悦	齊藤四郎	鎌田修悦	工藤喜美雄	小木田光一	赤坂康人	宇佐見信	藤内伸健	小松勝	齊藤譲	小原誠悦	安井万里子	見上清美	花田良雄	渡辺正臣	武田豊臣	石塚秀博	成沢淳子	倉田芳浩	伊藤巧一		佐藤隆博	藤枝新一	工藤孝政	長澤知子	鈴木純一	佐藤知子	小林一夫																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
市長提出	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○</

★賛否は、賛成(○)と反対(×)で掲載しています。

○：賛成【可決・承認・認定・同意・採択】、×：反対【否決・不承認・不認定・不同意・不採択】、欠：欠席、議：議長

★略記している会派の名称

「公明党」は公明党秋田市議会、「フロンティア」はフロンティア秋田、「社・市」は社会・市民連合、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団

〔継続審査となった案件〕 請願 ◆地上配備型ミサイル迎撃システム「イージス・アショア」の陸上自衛隊新屋演習場への配備計画の撤回に関する決議について

継続審査とは…議案等の審査に当たり、さらに調査する必要があるなどとして会期中に審査を終了できない場合、委員会からの申し出により、会期終了後も引き続き審査を行うことをいいます。

各議員の表決状況は市議会ホームページでも公開しています。

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

秋水会

安井正浩

◇台南市との交流拡大◇地域の産業振興◇ブラウブリッツ秋田への支援方針：ほか

産業振興

問 産業のエネルギーとしての再生可能電力、人のエネルギーとしての農産物、社会のエネルギーとしての芸術文化を供給する「エネルギー供給立市」を本市の目指すべき姿として産業振興を図るべきではありませんか。

答 本市は、風力などの再生可能エネルギー資源に恵まれているほか、都市と隣接した豊かな農地や充実した文化施設と優れた伝統芸能を有しており、こうした地域資源の有効活用は産業振興においても重要と認識しています。提案は貴重な意見として今後の参考とし、風車のメンテナンス等、発電に関連した業種やアグリビジネスの活性化、観光と連携した地域物産の販売促進等、地域資源を生かした産業振興に取り組んでいきたいと考えています。

(仮称) 秋田市文化創造交流館

同館のテラス等をカフェとし、その運営を意欲とノウハウのある市内業者へ開放するべきではありませんか。

答 同館は、より多くの方々に訪れてもらうため、運営管理計画策定に係る市民ワークショップやアドバイザーの意見を参考に、カフェや物販などのスペースを設けることを検討しています。カフェについては、テラスを含めた敷地内の広場空間を、来館者がまちの魅力を感じながらくつろぎ、交流できる場とするため、施設の役割を理解し、まちの顔となるようなカフェを運営できる意欲ある地元事業者がかかわることが望ましいと考え、運営管理計画や改修工事設計に反映するよう作業を進めています。



(仮称) 秋田市文化創造交流館
(旧県立美術館)

そうせい

小松健

◇新屋勝平地区へのイージス・アショアの配備◇新スタジアムの整備◇財政運営◇産業・労働政策◇公文書の管理等◇活動人口の拡大

イージス・アショア

問 有事の事態にかんがみ、新屋勝平地区へのイージス・アショア配備は容認できない旨を防衛省に申し入れてはどうか。

答 国は、これまでの説明の中で、地元の理解と協力が必要であるとしているものの、住民の不安や懸念は払拭されていない状況であり、各種調査の結果も含めて、十分な説明を尽くすべきであると考えています。本市としては、まずは国からの説明を受けた後、その内容を独自に検証することとしており、電磁波による健康被害の有無や有事に備えるための警備体制をはじめ、住民の安全安心への対策などを見極めた上で、議会等の意見も参考としながら、総合的に判断することになると考えています。

財政運営

来年度予算の編成に当たっては、どのような視点で市民サービスの質の維持および向上を図っていくのですか。

答 平成31年度当初予算の見通しとして、義務的経費の増加等により引き続き厳しい財政運営が見込まれる中、市民サービスの維持向上を図るため、人口減少対策を喫緊の最重要課題に位置付け、新・県都『あきた』成長プランに掲げた施策等を着実に推進するため、成長戦略事業について一般財源ベースで30年度を上回る39億7千万円を見込む等、集中的に経営資源を投入することにしました。一方、将来にわたる財政の安定・持続を見据え、歳入規模に見合う歳出構造を堅持するため、事業の必要性等の観点から妥当性を検証し、財源の効果的な活用に取り組みます。限られた財源の下、一層経営資源を重点的かつ効果的に配分した予算を編成することで、新たな市民ニーズに的確に応え、市民生活に必要なサービス水準が確保されると考えます。

■請願・陳情の提出について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者（代表者）の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の3日前（市の休日は算入しません）の午後5時までに議長あてに提出してください。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局議事課 電話 018(888)5784

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

フロンティア秋田
倉田 芳浩

◇イージス・アショアの配備
◇旧県立美術館改修工事設計業務委託に係る入札◇秋田和洋女子高等学校への建物等移転補償◇保育施設問題◇ごみ問題◇安心・安全なまちづくり◇地域活性化に向けた追分駅及び臨海鉄道の活用◇消防栓及び消防団◇補助金等助成団体への対応◇土崎港曳山まつり◇水道法改正◇いじめ問題◇外国人労働者の受け入れ◇旧環境部庁舎

生活道路等の交通安全

問 市民から生活道路等の交通安全に関して指摘があった場合、どのように対応していますか。また、秋田県警察と協議する場はあるのですか。

答 市民や町内会等から交通安全に関する指摘や要望があった場合、直ちに現地を確認の上、その都度、所轄の警察署に対応を求め、要望内容についての協議を行っていきます。



いじめ問題

問 市立の小中学校および高等学校において、個性の尊重や多様性についてどのように教育していますか。また、いじめ防止対策はどのように行っていますか。

答 学校は、さまざまな個性をもつ児童生徒が集い、互いに認め合い、共に活動することを通して、社会性を身に付ける場であると考えています。各校では、道徳や特別活動をはじめとするすべての教育活動において、相手を思いやる心や、自他を尊重する態度をはぐくんでいます。また、いじめの防止対策については、学校ごとに基本方針を作成し、いじめの定義を踏まえた積極的な認知や、管理職を含めた組織的な対応の重要性などについて、全教職員で共通理解を図り、未然防止、早期発見、即時対応に努めています。このほか、本市いじめ防止基本方針をまとめたリーフレットを全保護者へ配布するなど、家庭や地域の協力を得ながら、いじめの防止に取り組んでいます。

市民クラブ

渡辺 良雄

◇市長の政治姿勢◇新庁舎◇公契約◇教育行政◇農業・農地問題◇環境行政◇地域の諸課題

イージス・アショア

問 市長判断の参考とするため、市民の意識調査や住民投票を行う考えはありますか。

答 本市では、国からの調査結果の説明を受けた上で、その内容を独自に検証することとしており、その中で新たな疑問や問題点等が出てきた場合には、改めて国に対して説明を求める必要があると認識しています。市の判断は、そうした検証を終えた後に、電磁波による健康被害の有無や、有事に備えての警備体制をはじめ住民の安全安心への対策などを見極めた上で、議会等の意見も参考としながら、総合的に判断することになると考えています。また、国のこれまでの説明では、住民の不安や懸念は払拭されていない状況であり、まずは国において合理的かつ具体的な説明を尽くすことが市民の理解につながっていくものと認識しています。賛否の判断については、その理解の下になされるべきことと考えており、市民の意識調査や住民投票については、議会をはじめさまざまな意見等に耳を傾けながら考えていきます。

コミュニティ・スクール

問 本市の小中学校にコミュニティ・スクールを導入することにより、どのような効果が期待できるのですか。

答 コミュニティ・スクールは、各校に学校運営協議会を設置し、学校と家庭、地域が力を合わせて地域と共にある学校づくりを推進する仕組みです。コミュニティ・スクールの導入後は、取組状況について情報交換する場を設けるなど、各校を支援することにより、学校と家庭、地域の結び付きが一層強化されるとともに、子どもたちの活動の幅が広がり、地域の一員としての自覚が高まるなどの効果が期待されます。

■本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル101ch）と、市議会ホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

2月定例会の本会議は、2月18日、27日、28日、3月6日、19日に開催予定です。

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

公明党秋田市議会
武田 正子

◇市職員における障がい者雇用◇児童虐待の防止策◇若者の自殺対策

秋田市版ネウボラ

問 より多くの特定妊婦を把握するためには秋田市版ネウボラの面接率を上げる必要があると思いますが、現状と今後の取り組みはどうですか。

答 本市では、ネウボラの面接率を上げるため、土曜日も窓口を開設し、日中仕事で面接が困難な妊婦にも対応しているほか、面接していない妊婦には、両親学級などの機会をとらえて面接しています。また、若年や多胎の妊婦など、妊娠・出産にリスクが考えられる方には、個別に電話による面接勧奨を行っています。平成30年10月末現在の面接率は64・5％と増加傾向にあり、引き続き産婦人科医療機関等を通じてネウボラを周知していきます。



障がい者雇用

問 市職員における障がい者雇用について、法定雇用率の早期達成に向け、計画的な取り組みが必要と思いますが、採用対象に精神障がい者も含めた上で、平成30年度中に追加募集する考えはありますか。また、これまでの受験資格にある、自力通勤が可能でかつ介護者なしで職務遂行ができるという要件は削除すべきではありませんか。

答 秋田労働局による法定雇用率達成のためのヒアリングの際に、身体障がい者に加えて精神障がい者・知的障がい者も対象にした採用試験の実施や自力通勤が可能でかつ介護者なしで職務遂行ができるという要件の撤廃について指導されており、今後、受験資格を見直すこととしています。障がい者の採用試験に当たっては、障がいの特性に合ったさまざまな配慮が必要であり、その準備や周知期間を考慮すると、30年度中の追加実施は難しい状況ですが、今後、年度途中の採用も含め検討していきます。

日本共産党秋田市議会議員団
鈴木 木知

◇市長の政治姿勢◇教育◇まちづくり

公共交通

問 支線バス路線の廃止や減便で市民は困っています。支線バス路線をどのように考えていますか。また、廃止等により生じた公共交通空白地域における移動手段を提示し、その実現を急ぐべきではありませんか。

答 バス路線においては、将来にわたり維持すべき幹線バス路線を特定するため調査・検討を行い、74系統を幹線バス路線として特定し、支援の方針も含め、秋田市地域公共交通協議会で検討しています。支線バス路線についても、重要な移動手段として赤字路線に対する支援を行うとともに、減便や廃止においては、利用者に大きな影響がないよう、引き続きバス事業者と協議していきます。また、公共交通空白地域における移動手段については、第2次秋田市公共交通政策ビジョンに基づき、地域が主

体となる生活交通の導入を調査・研究してきており、平成31年度は次期秋田市政改革大綱にも位置付け、本市の実情に即した仕組みづくりの検討を進めていきたいと考えています。

問 小中学生の登下校時の重い荷物について、積極的に改善を図るべきではありませんか。

答 本市では、登下校時の重い荷物による児童生徒の負担を考慮し、これまで、校長会との協議を通して負担軽減に努めるよう働き掛けてきました。各校においては、辞書や資料集など、学校に置いていってよい学習用具を増やすほか、荷物の量や重さに配慮し、図工や習字の道具などの大きな荷物については持ち帰る日を計画的に設けるなど、改善策を講じています。

登下校時の重い荷物



中学生の登校の様子

議会の動き

11月22日 各派会長会議
26日 議会運営委員会
28日 11月定例会
(12月20日まで)

1月7日 編集委員会
15日 編集委員会
16日 厚生委員会 (閉会中)
28日 教育産業委員会 (閉会中)

1月30日 総務委員会 (閉会中)
2月1日 建設委員会 (閉会中)



本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

秋水会

熊谷重隆

◇市長の政治姿勢◇障がい者雇用問題◇公共的団体に対する不動産の譲渡◇豪雨災害に伴う復旧工事の入札不調◇過疎地域自立促進特別措置法に基づく自立促進の取り組み◇都市内地域分権と市民サービスセンターへの権限移譲等◇児童虐待防止策◇教育◇消防◇地域の諸課題

災害復旧工事の入札不調

問 入札不調は災害復旧の遅れに直結すると思います。その対応策と今後の見通しはどうですか。

答 豪雨災害に伴う復旧工事は、平成29年度から入札不調が多く、入札参加対象者の拡大や現場代理人の常駐義務の緩和などの対策を行ってきたところですが、その後も入札不調が続いたため、これまでの対策に加え、30年10月から、複数回入札を行っても応札者がいなかった工事について、ホームページで受注希望者を公募し、申込者との見積もり合わせによる契約方法を新たに導入しています。

このことにより、受注希望者は、速やかに申し込みが可能となり、これまで14件公募したところ、30年11月末現在で4件の契約を締結しています。今後も、この方法を継続するとともに、他自治体も参考にしながら、災害復旧工事の入札不調対策に努めていきます。

除雪車の出動体制

問 冬期間は地域ごとの降雪に差があることから、迅速に対応するため、降雪の多い河辺・雄和両市民サービスセンターの判断で除雪車を出動できる体制を整えるべきではありませんか。

答 河辺・雄和両地域の除排雪については、地域特性を考慮し、両市民サービスセンターまたは道路除排雪対策本部が、作業範囲や時間などを除排雪業者に指示することとしています。先般、今冬の除排雪作業に向け、両市民サービスセンターと対策本部とで連絡体制や作業指示の手順等を再確認しており、これまで以上に連携を図りながら、より一層迅速な対応に努めていきます。

秋水会

岩谷政良

◇行政改革◇秋田市の公文書管理のあり方◇第6次秋田市総合都市計画◇本市への移住促進◇地域まちづくり推進事業◇子育て支援◇福祉施策◇各種証明書のコンビニ交付◇教育

移住促進

問 多くの自治体が移住促進に取り組む中、本市への移住状況はどのようになっていますか。

答 本市への移住者数は、平成28年度が55世帯130人、29年度が70世帯135人と推移しており、30年度は11月末時点で54世帯120人と29年度を上回るペースで増加しています。これは首都圏などで開催している移住フェアや金融機関と連携したセミナーでのPR活動に加え、子育て世帯移住促進事業など、本市独自の取り組みを実施してきた効果の表れととらえています。



子育て支援

問 今後の在宅子育て家庭の支援について、どのように取り組んでいきますか。

答 本市では、在宅子育て家庭の育児不安や孤立感の解消を図ることを目的に、各種交流イベントや子育てに関する相談を実施しているほか、本市独自の事業として、未就学児を在宅で子育てしている保護者を対象に、各種子育て支援サービスに利用できる子育てサポートクーポン券を交付しています。本事業は、在宅子育て家庭の経済的負担の軽減にも資するものであり、現在は、1歳児からとしている交付対象年齢を、0歳児からに拡大することなどを検討しているところです。引き続き、在宅子育て家庭が、子どもを生み育てる日常に笑顔が増えるよう、各種事業の充実に努めていきます。



在宅子育てサポート事業のパンフレット

行政情報アプリ「マチイロ」について

スマートフォンやタブレット端末用の広報紙閲覧アプリ「マチイロ」であきた市議会だよりを配信しています。

専用アプリをダウンロードしてご利用ください。

※マチイロ公式サイト <http://machihiro.town/>



アプリダウンロード
QRコード

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

秋水会

こぎた 喜美雄

◇市政運営に対する市長の基本姿勢◇平成31年度予算編成◇人口減少対策におけるまちづくり◇市立秋田総合病院の改築◇公共工事の発注における課題等◇環境施策◇スポーツ施策◇太平川、猿田川及び古川流域の課題等

生産年齢人口減少への対応

問 生産年齢人口の減少が本市に与える影響とその対応にどう取り組むのですか。

答 生産年齢人口の減少は、人手不足による経済活動の低下、税収減による財政規模の縮小など市民生活に大きな影響があると考えられます。本市でも生産年齢人口は年々減少し、特に若者を中心に転出超過が続いているため、企業誘致による新規雇用の創出等に取り組むとともに、今定例会に提出の秋田市中小企業振興基本条例に基づく市内企業活性化のための施策を進め、若者の地元定着につなげていきます。また、第1子保育料無償化等、子どもを生み育てやすい社会づく

りに取り組むほか、エイジフレンドリーシティの実現など、多様な人材が社会の支え手として活躍するための施策を推進し、持続可能で誰もが生きがいを感じられる豊かな社会の実現を目指していきます。

水害対策

問 猿田川および古川流域の水害対策について、今後どう対応していくのですか。

答 平成30年度の取り組みとして、流下能力の向上を図るため、本市では古川の河道掘削の事業範囲を大幅に拡大し実施したほか、国では雄物川の古川排水樋門付近で、県では猿田川の古川合流点等で河道掘削を実施する予定です。このほか、より効果的で効率的な対策の実施に向け、国、県、市の三者による協議会をこれまで2回開催し、浸水被害の要因分析や治水対策のあり方等の検討を進めております。今後も、国や県と連携し、よりスピード感を持ち、安全・安心につながる総合的な治水対策に取り組んでいきます。

予算決算委員会各分科会の審査から

総務分科会

総務部、企画財政部、会計課、消防本部などの所管事項

委員 きずなでホット

について、平成30年度の実績から、31年度の取り組みをどのように考えていますか。また、総務省から返礼割合実質3割を超える返礼品の送付は好ましくないと通知されていますが、見直しはされたのですか。

企画財政部 30年度の同

寄附金は、現状から推計すると、目標2億円の達成は厳しい状況です。このような状況から事業の見直しが必要と考え、他都市で効果を上げている申込サイトの複数化などについて検討しており、31年度も目標額を2億円と設定し、その達成に努めたいと考えています。また、総務省からの通知を踏まえて、返礼割合実質3割を超えないよう見直ししており、今後とも、地域経済の循環や地域のPRに結び付くよう事業を実施していきたいと考えています。

教育産業分科会

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員 廃止石油坑井保全

事業は、鉱業権者が経営難のため、原油の流出に係る措置を行うことなく閉山し、倒産したためにやむを得ず市が保全措置を行うとのことですが、このような事態を招く前に指導はしなかったのですか。また、これまでも同様に対処した事例はあるのですか。

産業振興部 石油の開発

等の所管は国であるため、これまで鉱業権者に対して国から指導が行われてきたところですが、今回、閉山・倒産に至ったものです。また、今回と同様の事例として、平成20年3月に上新城道川地区で油が流出した際にも、市が処理を行っております。



原油が湧出した
金足黒川地区の油井

常任委員会の審査から

総務委員会

総務部、企画財政部、会計課、消防本部などの所管事項

委員 公立大学法人秋田

公立美術大学第2期中期目標のうち、国際交流に関する目標について、これまでの取り組みと今後の見通しはどうですか。

企画財政部

国際交流について

については、同大学設置当初からこれまで「秋田から世界へ発信するグローバル人材を育成する大学」を基本理念の一つとして掲げて取り組んでおり、平成29年10月には台湾の台南市にある台南應用科技大学と国際交流に係る協定を締結したところ。第2期中期目標においても、国際交流の展開に関する目標に、海外との交流機会を拡充すること、掲げており、今後は他の大学との提携を進めるなど環境の整備を進め、グローバルな人材の育成に力を入れていくこととしています。



厚生委員会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

委員 高齢者がコミュニティセンターなどの和室を

会合などで使用する際、立ち居の動作で体に負担がかかることから洋室が好まれる傾向にあります。金足地区コミュニティセンター（仮称）の整備ではどのような配慮をしたのですか。

市民生活部

同コミュニティセンター内の諸室は、

地域の方々と話し合いの上で配置していますが、和室についてはできるだけ広くしてほしいとの要望があり、18畳二間としました。また、高齢者の体への負担軽減のため、和室用のいすを配備することとしています。さらに、会議や打ち合わせなどのスペースとして洋室の要望もあったため、調理室内のレイアウトを工夫し、調理台を部屋を中心ではなく壁際に設置することにより、調理室として使えないときには会議室としても使えるよう配慮しました。

教育産業委員会

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員 八橋運動公園の陸上競技場夜間照明設備の使

用料には、全点灯、全点灯の2分の1点灯、全点灯の4分の1点灯と3つの区分を設けていますが、その区分によりどのような使用が可能となるのですか。

観光文化スポーツ部

本照明設備について、

全点灯の場合は、照度が1千500ルクス以上となり、Jリーグ規約で定める照明装置の基準を満たすことから、Jリーグの試合の開催が可能となります。また、全点灯の2分の1点灯の場合、照度が500ルクス以上となり、300ルクスであるあきぎんスタジアムよりも高い水準の運動競技会などが開催できます。さらに、全点灯の4分の1点灯の場合、照度が200ルクス以上となり、同公園の多目的グラウンドと同程度であることから、市民の一般的なスポーツに使用できます。

建設委員会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

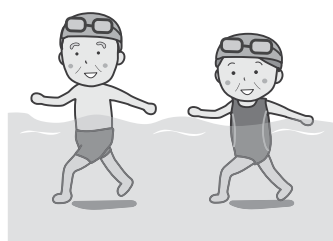
委員 太平山リゾート公

園等については、平成18年度から太平山観光開発株式会社が指定管理者となっており、引き続き指定管理者となるに当たり、利用者の増加に向けてどのような取り組みを考えているのですか。

建設部

同社は、これまで

も水中歩行などの健康増進教室を企画してきております。今後はそれをさらに発展させて、高齢者が健康管理のために利用できるような、健康をテーマとした新規事業に取り組んでいくとしています。



2月定例会のお知らせ(予定)

■日程

2月18日	本会議
27日、28日	本会議「代表質問」
3月1日	常任委員会・分科会
4日	分科会
5日	常任委員会
6日	本会議「一般質問」
7日	常任委員会
8日～13日	常任委員会・分科会（土日除く）
15日	常任委員会
19日	本会議

※秋田市議会では、本会議、常任委員会、分科会などの傍聴ができます。

日程、代表および一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。

■代表質問予定者

会派（3人以上所属の会派）を代表して質問します。

齊藤善悦（秋水会）
武内伸文（そうせい）
安井誠悦（市民クラブ）
成沢淳子（公明党秋田市議会）
佐藤哲治（フロンティア秋田）
長澤孝政（社会・市民連合）

■一般質問予定者

小野寺誠、鎌田修悦、赤坂光一（秋水会）
小原 譲（そうせい）

今回のあきた市議会だよりは
2019年5月3日発行
予定です。

